新型コロナウイルス感染予防対策

三原市芸術文化センターポポロ

利用者ガイドライン【暫定版】

2020 年 8 月 3 日時点

※2020 年 8 月 3 日時点でのガイドラインとなります。
広島県の指針等により、内容は随時変動していきますことをご了承下さい。

目次

新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策チェックリスト、および同意書 3

1、利用条件について 4

2、主催者様に協力を求める具体的な感染予防策

2-1　公演前の対策 5

①入場制限

②来場者との関係

③公演関係者との関係

2-2　公演当日の対策 6

①周知・広報

②来場者の入場時の対応

③会場内の感染防止策

④公演関係者の感染防止策

⑤感染が疑われる者が発生した場合の対応策

⑥物販

⑦来場者の退場時の対応

2-3　公演後の対策 8

3、資料

新型コロナウィルス感染防止のためのイベント・行事開催の判断チェックシート(三原市)..... 10

ホール　客席配置参考例..... 11

出演者の立ち位置 1mソーシャルディスタンスの参考例 12

公演関係者名簿..... 13

来場者名簿（主催者様用）..... 14

編集履歴..... 15

三原市芸術文化センター

新型コロナウィルス感染症の拡大防止対策チェックリスト

新型コロナウィルスの集団感染予防の為、施設利用にあたり、以下の内容をご確認のうえチェックを入れてください

1. 三原市の施設利用指針に沿った使用を遵守してください

□ 「申し込み時」ではなく「施設利用時」に打ち出されている三原市の施設利用指針に従います
（コロナ感染症拡大予防にかかる施設利用の指針は動向により変動いたします）
（来場者の人数が制限される場合があります）

□ 密を避けるため、間隔をはなした座席配置に努めます

2. 公演の開催に関わらず、ホールをご利用の際は、以下のことを遵守してください

□ マスクを着用します
（出演者、来場者、スタッフすべてにおいて）

□ 体調管理をします
（ご自身での検温・体調に不安のある場合は来館を控えてください）

□ 手指の消毒の徹底をします
（ホールでも消毒液はご用意いたしますが、必要に応じて主催者にてご用意ください）

□ 三密を避けるための注意喚起に努めます
（事前に関係者への周知、当日場合によっては口頭での注意をしてください）

□ 万が一感染が発生した場合に備えて、公演ごとに使用者全員の連絡先の把握に努めます
（主催者、出演者、主催従事者の名簿の作成・保管をお願いします。
状況により、保健所等への提出をお願いする場合があります）

以上の内容をご確認いただき、同意の上でご署名をお願いいたします

年　　月　　日

団体名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　代表者名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1、利用条件について

① マイクを使用したり、会話程度の利用は、ステージと客席の距離を最低 1m（できるだけ 2mを目安に）確保してください。声を張り上げたり、楽器演奏をする場合は、充分な距離を（最低 1m）確保してください。舞台上での、出演者同士の社会的距離を考慮したうえで、公演を行ってください。

② 合唱など声を出す公演は、左右1m、前後2m以上の距離を確保してください。距離が確保できない場合は、飛沫防止パテーション、合唱用マスク等を主催者で用意して感染防止に努めてください。

③ 「三密」対策等以下に準ずる対策を講じてください。

④ ご利用人数は、「5000 人以下、かつ収容人数の半分以下」となります。
ホールは、主催者スタッフ・出演者を除き 600 人以下。（1 階席のみ利用の場合は、420 人）
親子室は、6 名以下。
楽屋は、楽屋小②4 名、楽屋小①2 名、楽屋中①②各 8 名、楽屋大 12 名以下。
ホワイエは 60 名程度。
リハーサル室は、50 人以下。
練習室は、10 名以下。
会議室は、10 名以下。

⑤ 舞台・客席ともに空調は常時運転し、停止は行いません。

⑥ ホワイエの飲食は、当面の間、見合わさせて頂きます。

⑦ ゴミはゴミ袋に入れて持ち帰ってください。

⑧ 参加者が 1000 人を超えるイベントの実施は、事前に広島県に相談が必要です。

以上に同意いただきましたうえでご利用をお願いいたします。

2、主催者様に協力を求める具体的な感染予防策

2-1　公演前の対策

① 入場制限

・ 公演の企画にあたって、密集を回避する方策や密な状況を発生させない工夫の導入を検討してください。

（例）

開場・休憩時間の延長、入場時のチケット確認（もぎり）の簡略化、入場待機列の設置、日時や座席の指定予約による人数調整、大人数での来館の制限等

② 来場者との関係

・ チケットシステム等により事前に把握している範囲で、公演ごとに、来場者の氏名及び緊急連絡先の把握に努めてください。

また、来場者に対して、こうした情報が来場者から感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。

・ 来場前の検温実施要請のほか、来場を控えてもらうケースを事前に周知してください。

③ 公演関係者との関係

・ 氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成してください。

また、公演関係者に対して、こうした情報が必要に応じて保健所等の公的機関へ提供され得ることを事前に周知してください。

・ 本指針及びこれを踏まえた現場の対応方針を、全員に周知徹底を図ってください。

2-2 公演当日の対策

① 周知・広報

感染予防のため、来場者に対し以下について主催者様にて周知してください。

- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒の徹底
- 社会的距離の確保の徹底
- 下記の症状に該当する場合、来場を控えること
  咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、味覚・嗅覚障害、
  眼の痛みや結膜の充血、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐

② 来場者の入場時の対応

以下の場合には、入場しないよう要請してください。

- 発熱があり検温の結果、37.5℃以上の発熱があった場合
- 咳、咽頭痛などの症状がある場合
- 新型コロナウィルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- 過去 2 週間以内に感染が引き続き拡大している国・地域への訪問歴がある場合 等
- 事前に余裕を持った入場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での入場、開場時間の前倒し等の工夫を行ってください。
- 入待ちは控えるよう呼びかけてください。
- 貸出物について十分な消毒を行うとともに、十分な消毒が行えない場合は、貸し出しは行わないでください。
- パンフレット・チラシ・アンケート等は極力手渡しによる配布は避けてください。
- プレゼント、差し入れ等は控えるよう呼び掛けてください。

③ 会場内の感染防止策

- 接触感染や飛沫感染を防止するため、消毒や換気の徹底、マスク着用と会話抑制等、複合的な予防措置に努めてください。
- 座席は原則として指定席にするなどして、適切に感染予防措置がとれる席配置とするよう努めてください。
- 座席の最前列席は舞台前から十分な距離を取り、また、感染予防に対応した座席での対策（前後左右は空けた席配置、又は距離を置くことと同等の効果を有する措置等）に努めてください。
- 公演中の来場者同士の接触は控えていただくよう周知するほか、座席のひじ掛けの使用についても、左右いずれかに統一するように要請してください。
- 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わないようにしてください。
- 場内における会話は控えていただくよう周知してください。

・ 事前に密集状況が発生しないように余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑緩和に努めてください。
・ 客席の換気は、できるだけ常時換気し、長時間密閉する場合は、休憩時間をもうけて、最低 20 分間換気を行ってください。

④ 公演関係者の感染防止策

・ 公演の運営に必要な最小限度の人数とするようにお願いします。
感染防止対策中の楽屋収容人数目安
楽屋小②4 名、楽屋小①2 名、楽屋中①②各 8 名、楽屋大 12 名
収まりきらない場合、リハーサル室・練習室・会議室の楽屋としての利用や、楽屋使用メンバー入れ替え制などの措置をとるようにお願い致します。
・ 各自検温を行うこととし、37.5℃以上の発熱がある場合には自宅待機としてください。さらに、発熱の他に、その他の体調不良の場合も、自宅待機を促してください。
・ 公演主催者は、従事者の緊急連絡先や勤務状況を把握してください。
・ 表現上困難な場合を除き原則としてマスク着用を求めるとともに、出演者間で十分な間隔をとってください。また、公演前後の手指消毒を徹底してください。
・ 楽屋等では使い捨ての紙皿やコップを使用してください。
なお、楽屋給湯室の茶器の使用はご遠慮ください。
・ 機材や備品、用具等の取り扱い者を選定し、清潔な手袋・マスクを着用して、不特定者の共有を制限してください。
・ 椅子、机等の機器類以外の備品は、消毒して返却してください。
・ 仕込み・リハーサル・撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の防止に努めてください。
・ その他、稽古や仕込み・撤去等においても十分な感染防止措置を講じてください。
・ 公演関係者に感染が疑われる場合には、保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。
・ 飛沫感染防止の為、楽器演奏により出た水分は床に捨てず、利用者にてタオルなどを用意し拭き取りおよび処理をしてください。
・ 舞台袖では、大きな声での会話を慎み、不用意に袖幕・機材に触れないようにしてください。

⑤ 感染が疑われる者が発生した場合の対応策

・ 感染が疑われる者が発生した場合、速やかにホールスタッフの指定した部屋へ隔離を行ってください。
・ 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底してください。
・ 速やかに、保健所へ連絡し、指示を受けてください。県東部保健所 082-513-2567

⑥ 物販

- 現金の取扱いをできるだけ減らすため、オンラインの販売やキャッシュレス決済を推奨します。
- 物販を行う場合、最低 1m（できるだけ 2mを目安に）の間隔を空けて整列していただくようにしてください。
- 物販に関わる従業員は、マスクの着用と手指消毒を徹底してください。
- 対面で販売を行う場合、アクリル板や透明ビニールカーテンにより購買者との間を遮蔽するよう努めてください。
- 多くの者が触れるようなサンプル品・見本品は取り扱わないでください。

⑦ 来場者の退場時の対応

- 事前に余裕を持った退場時間を設定し、券種やゾーンごとの時間差での退場等の工夫を行ってください。
- 出待ちや面会等は控えるよう呼びかけてください。

2-3 公演後の対策

① 公演ごとに、可能な範囲で来場者の氏名及び緊急連絡先を把握し、名簿を作成・保存するよう努めてください。

② 感染が疑われる者が出た場合、保健所等の公的機関による聞き取りに協力し、必要な情報提供を行ってください。

③ なお、個人情報の保護の観点から、名簿等の保管には十分な対策を講じてください。

感染予防対策用備品など

・ 手指消毒液について
手指消毒液はホールにて、エントランス入り口 2 ヶ所、ホール入り口各 6 カ所に用意いたします。
上記以外の場所へ手指消毒液の増設が必要な場合は、主催者様にてご用意ください。

・ 楽屋等の消毒液について
室内に消毒液を設置しています。

・ 備品の消毒液について
椅子、譜面台、机の舞台備品を消毒する消毒液は、舞台袖に用意しています。使用後は、消毒して返却してください。

・ 検温器について
ハンディタイプのサーマルカメラ 1 台、非接触型体温計を 2 台用意しております。ご利用ください。

上記以外の感染予防対策用備品は貸し出しを行うことができませんので主催者様にてご準備をお願いいたします。

・ マスクについて
未着用者へ主催者様によるマスク販売の場合、販売手数料は発生いたしませんが、営利目的の場合は販売手数料を請求いたします。

新型コロナウイルス感染症　感染拡大防止のための

イベント・行事開催の判断チェックシート

●地域でのイベント・行事を開催する際には，このチェックシートを参考に，会場設定・参加人数・開催時間などを調整し，感染防止対策を講じた上で，慎重に開催していただきますようお願いします。　※ 今後の感染拡大状況により，変更することがあります。

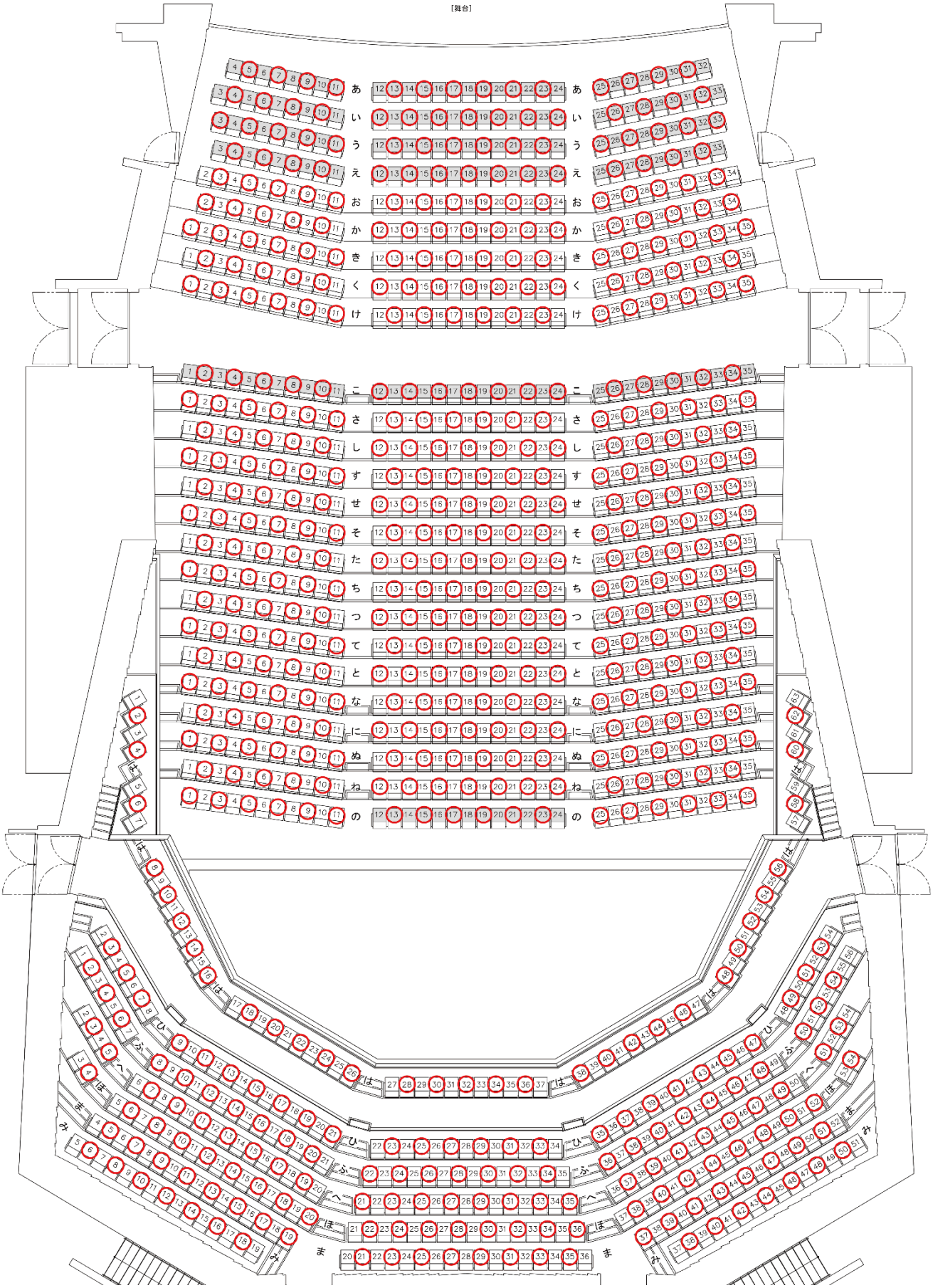
No.	対　応　項　目	チェック欄 ○
1	**参 加 人 数【7月31日まで】** **※1　広島県の対処方針　令和２年７月９日一部改正による** ・屋内は、5,000 人以下、かつ収容定員の半分以下にすること。 ・屋外は、5,000 人以下、かつ人と人との距離を十分に（できるだけ２m）確保できること。 全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が 1,000 人を超えるようなイベントの開催を予定する場合は，施設管理者又はイベント主催者は，事前に県に開催要件などを相談すること。	
	【参考】**※2 国の示す目安**　【令和２年８月１日以降の対処方針は後日改正予定】 ・屋内は、人数上限なし、ただし収容定員の半分以下にすること。 ・屋外は、人数上限なし、ただし人と人との距離を十分に（できるだけ２m）確保できること。	
2	３つの密（密閉、密集、密接）の発生が原則想定されないこと。 ① 窓を２方向（窓が１つの場合は窓とドア）を開け、常時換気できること。 ・エアコンを使用中も、室温 28℃、相対湿度 70%を超えないように温度設定をこまめにしつつ、常時、窓を少し開け、連続的に外気を取り入れる。 ② 人との間隔はできるだけ２m（最低１m）空けること。 ③ 密閉された空間で、大声での発声、歌唱や声援又は近接した距離での会話等が原則想定されないこと。	
3	参加者の名簿作成による連絡先等の把握に努め、スマホの接触確認アプリの活用を図ること。	
4	参加者に体調管理（検温）を事前に周知すると共に、入場時等に検温を実施し、発熱やかぜ症状がある場合は参加を控えてもらうよう対応できること。	
5	参加者全員がマスクを着用すること。気温・湿度が高い時は、熱中症へ注意を ① 屋外で人と2m 以上離れている時は、マスクを適宜はずしましょう。 ② マスクをしている時は、負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人と距離を十分にとった上で、マスクを適宜はずし、休憩をとりましょう。 ③ のどが渇いていなくてもこまめに水分補給、涼しい服装やエアコン等で室温調節を。	
6	参加前後での手指消毒かこまめな手洗い（石鹸で 30 秒以上）が徹底できること。	
7	消毒液やマスクは主催者が準備するか参加者が準備できること。	
8	イベントの前後や休憩時間等の交流を極力控えること。	
9	飲食や調理を伴うイベントや会合は、開催を慎重に検討し、やむを得ず行う場合は、真正面を避け間隔を空け横並びや、会話を控えるなど工夫すること。	
10	参加者同士の物品（筆記用具、マイク等）の使い回しは避けること。	
11	**全国的かつ大規模な催し物等の開催については、リスクアセスメントの対応が整わない場合は、中止又は延期するよう慎重な対応をすること。**	

令和２年５月２９日作成（令和２年６月１８日一部改訂）（令和２年７月９日一部改訂）

三原市感染症対策本部　問い合わせ：三原市保健福祉課　0848 - 67 - 6053

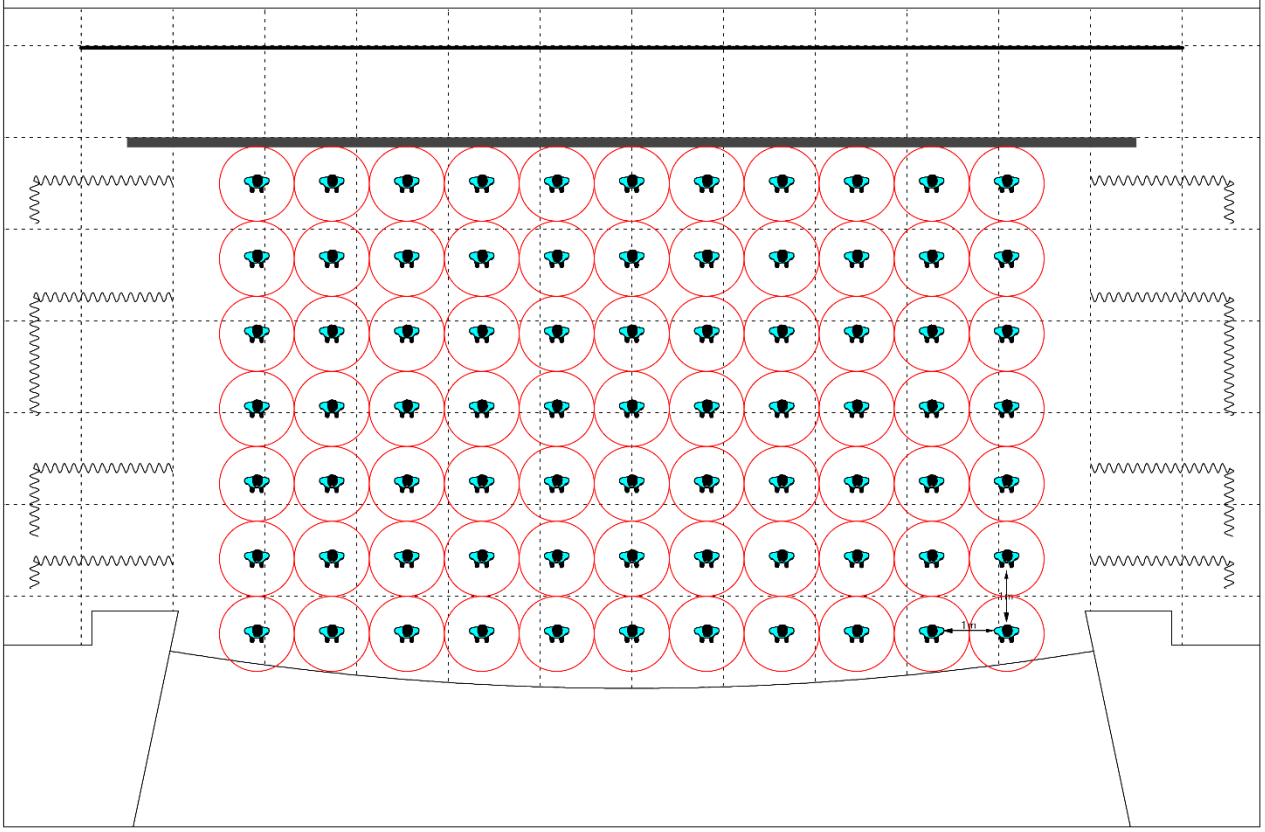
客席配置参考例　　最大 600 席

1 階席　426 席　　2 階席　174 席

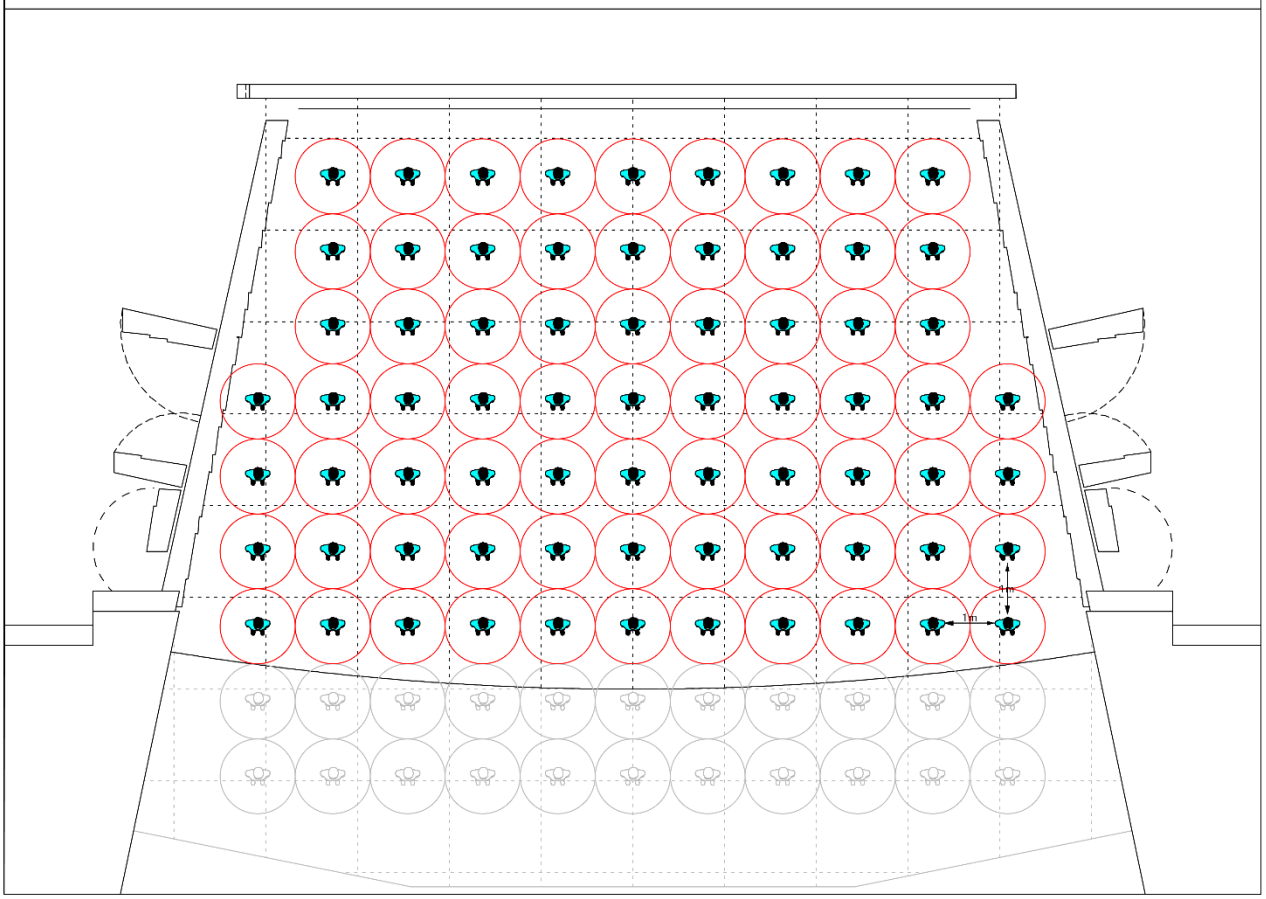


ソーシャルディスタンス（最低１ｍ）を確保した最大人数の例
（※目安としてお使いください）

袖幕10間の場合　横：11名　縦7名　最大：77名



反響板の場合　横最大：11名　縦最大：7名　最大：71名
（オーケストラピットを舞台面で設置した場合　+22名）



公演関係者名簿

No.	氏名	連絡先	メールアドレス

※感染が発生した場合に備え、主催者にて公演関係者名簿作成をおねがいいたします
こちらの情報は必要に応じて保健所等の公的機関へ提供していただきます。

三原市芸術文化センターポポロ

来場者名簿

No.	氏名	連絡先	メールアドレス

※感染が発生した場合に備え、主催者にて公演関係者名簿作成をおねがいいたします
こちらの情報は必要に応じて保健所等の公的機関へ提供していただきます。

三原市芸術文化センターポポロ

■編集履歴

◎8 月 3 日　初稿